

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	カンロ株式会社					
代表者名	氏名	三須 和泰	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都新宿区西新宿3-20-2 東京パセラテイル37階					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	菓子及び食品の製造及び販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3,784	3,670	3,838	4,300	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7,435	7,211	7,539	8,474	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	4		4	4	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	2				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2021	年度					

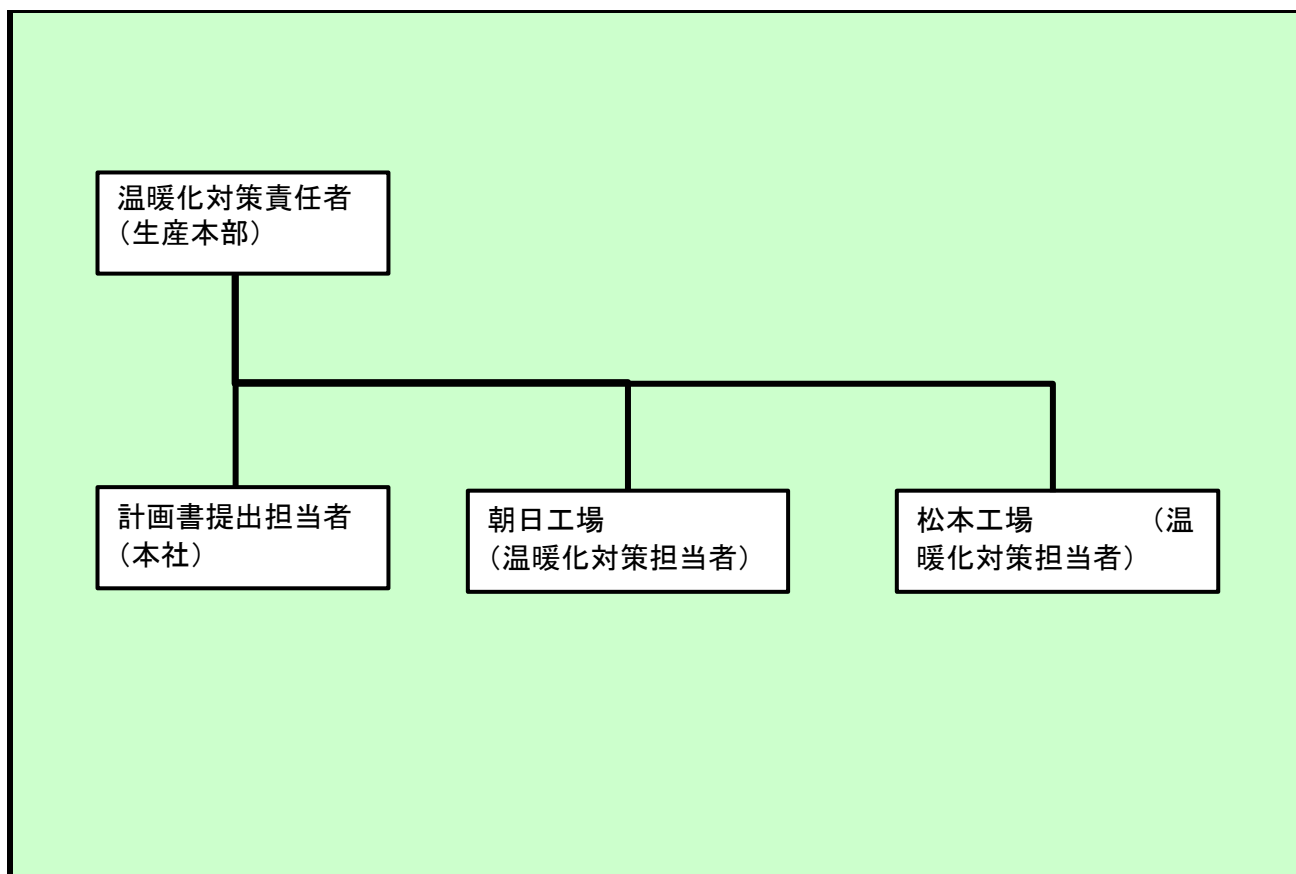
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：朝日工場 長野県東筑摩郡朝日村大字古見字柳久保2216-1 時間：8：30～17：30 担当部署：設備管理チーム 電話番号：0263-99-2611（代表）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. キャンディ・グミの製造と出荷に関する活動によってもたらされる環境影響を常に的確に把握し、環境マネジメントシステムの継続的維持・改善を図り地球環境保護と汚染の予防に取り組めます。
2. 地球温暖化防止に向け、電力・燃料などの省エネルギー活動を推進します。
3. マネジメントシステムが適切に実施され、維持されているか確認すると共に、定期的に見直しを行いマネジメントシステムとパフォーマンスの継続的な改善を図ります。
4. この方針を達成するため目的及び目標を定め、定期的に見直します。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

松本工場 ISO14001 EMS委員会 (年12回)
朝日工場 ISO14001 EMS委員会 (年12回)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,435	t-CO ₂	生産重量	9.18	単位	千t
2019年度	調整後排出量	7,435	t-CO ₂	基準原単位	809.56	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	7,211	t-CO ₂	目標原単位	785.27	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	年間1%の削減を目標とする。						
第一年度	排出量	7,539	t-CO ₂	生産重量	8.48	単位	千t
	削減率	-1.40	%	原単位	889.03	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	7,539	t-CO ₂	原単位削減率	-9.82	%	
	削減率	-1.40	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー原単位が高いグミの生産比率が上がったため ・小ロット生産が増え、品種切替のための清掃時間が多くなりエネルギーの消費が増加したため ・小ロット生産が増え、全体の生産量が減少しエネルギー効率が悪くなったため原単位が増加したため 						
第二年度	排出量	8,474	t-CO ₂	生産重量	10.90	単位	千t
	削減率	-13.98	%	原単位	777.26	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	8,474	t-CO ₂	原単位削減率	3.98	%	
	削減率	-13.98	%				
排出量等の増減理由	・松本、朝日両工場とも生産重量が増加したため排出量も増加した、但し原単位で削減。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350699	受変電設備の更新 高効率機器の導入	2020	10	2020	13
2	エネ起	360751	コンプレッサ運転台数の自動制御装置等の導入	2021	7	2021	7
3	エネ起	360752	コンプレッサ吸気温度上昇の抑制 コンプレッサ室へ空調設置	2021	5		
4	エネ起	380752	LED照明の導入	2020～ 2022	15	2020	10
5	エネ起	330299	空気調和設備、換気設備	2020～ 2022	5		
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	354	0	354	354	

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	7,435	2	7,539	2	8,474		
1,500k1未満								
合計	2	7,435	2	7,539	2	8,474		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	1	1	2	
合計	1	1	2	0
自動車総数	4	4	4	
次世代車導入割合	25	25	50	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2001年
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	プラスチック代替包材導入へテスト開始		2020年

1.5 自由記載欄